

第71回日本消化器外科学会総会



# 特別講演



2014年 ノーベル物理学賞受賞

## 中村修二 教授

カリフォルニア大学 サンタバーバラ校  
徳島大学 客員教授

Blue  
LED  
Light Emitting Diode

司会：前原喜彦（九州大学大学院 消化器・総合外科学）

日時：平成28年7月15日（金）14:10 - 15:00

会場：第一会場（あわぎんホール 大ホール）

#### 中村修二教授 プロフィール

1954年5月22日愛媛県瀬戸町（現在の伊方町）生まれ。1977年、徳島大学工学部卒、1979年1979年徳島大学修士課程を修了後、日亜化学工業入社。1994年、同社に勤務するかたわら、徳島大学博士課程を修了。工学博士。日亜化学工業入社後の10年間は、赤外、赤色LEDの開発に携わる。1988年、1年間フロリダ大学に客員研究員として渡米。1989年、帰国後、4月から青色発光ダイオードの研究を開始した。1993年・1995年、世界で初めてインジウムガリウム窒素（InGaN）ダブルヘテロ構造高輝度青、緑色LEDをそれぞれ、開発、製品化した。1996年、InGaNダブルヘテロ構造を用いて、世界で初めて青色半導体レーザーの発振にも成功。InGaN系発光デバイスの発明は、過去30年間の半導体材料研究における分野で、最も重要な発明の一つとされている。現在、200件以上の米国特許と300件以上の日本特許を所有。これまでに550件以上の科学論文を執筆。1999年、日亜化学工業退社後、2000年からカリフォルニア大学サンタバーバラ校材料物性と電気コンピューター工学部の教授に就任。同大学では、固体発光エネルギー電子デバイスセンター（SSLEEC）の所長と、クリー（Cree）チェアも兼ねている。【主な受賞歴】●1996年、日経BP技術賞 仁科記念賞●2001年、朝日賞●2008年、応用物理学会論文賞●2011年、第63回エミー賞技術開発部門、米国●2014年 ノーベル物理学賞 文化勲章、文化功労者●2015年、応用物理学会 名誉会員